

1 雇用促進住宅廃止問題について

- (1) 雇用促進住宅は、住宅困難者のセーフティネットとしてこれまで大きな役割を果たしてきた。今後もその役割は必要である。廃止は、市民の居住権の乱暴な否定であり、問題と考える。厚生労働省、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の方針に対する見解について伺う。
- (2) 住居を追われ生活が困難になる人が予想される。市は、市内雇用促進住宅入居者の聞きとりをはじめ、実態調査をどのようにされたか、伺う。
- (3) 平成27年6月10日、厚生労働省職業安定局長が、各都道府県知事あてに雇用促進住宅廃止に伴う退去者の公営住宅等での受け入れについて(依頼)の通知を出している。公営住宅での受け入れが必要と思われるが、どのように受け止めているか、見解を伺う。

2 磐田市の農業振興策について

- (1) 磐田市の農業振興の現状と課題について伺う。
- (2) 今後めざすべき特徴ある磐田市の農業の方向性について伺う。
- (3) 耕作放棄地に至る要因と現状認識、今後の対応策について伺う。
- (4) 「大筋合意」したとする環太平洋連携協定(TPP)に対して農業関係者から不安と批判の声が広がっている。磐田市の農業と地域経済に与える影響も大きいと考える。見解を伺う。
- (5) 将来にわたって農業に安心して励めることが求められている。確信を持つためにも政策の一貫性、持続性が不可欠である。国、県に要望する施策は何か。

### 3 杭打ちデータ偽装について

- (1) 旭化成建材の杭打ち工事データ偽装は、公営住宅や学校など全国各地の公共施設まで波及し、国民は不安を募らせている。行政として建物の安全性をどのように確保すべきか、市の現状と今後の対応策について伺う。